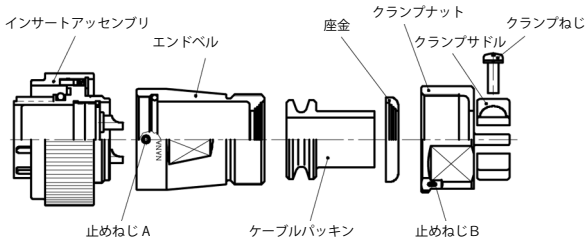


結線作業方法【はんだ】BLW

※結線部に強い力が加わるような使い方は避けて下さい。
クランプナットを締め付けた際にケーブルパッキン内径部との密着性を損なわない構造のケーブルを選定して下さい。

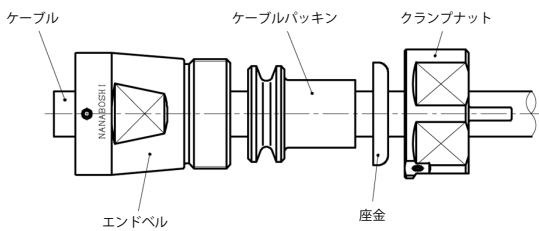
1. 構成図の通りコネクタを分解する。

※六角レンチのサイズは以下の通りです。
BLW-32 → 1.5mm



2. 分解した各部品を下図の順でケーブルに通す。

注) 各部品の順番、向きを間違えないようにすること。

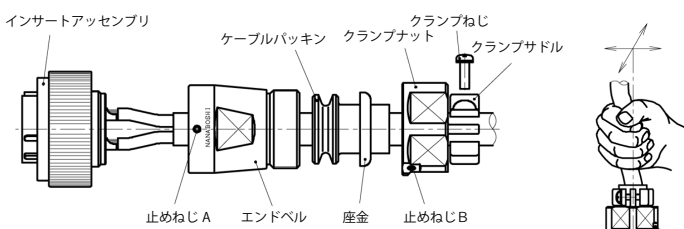


3. 使用ケーブルのシース及び電線を別紙指定寸法で剥く。

6. 下記の要領でコネクタを組み立てる。

注) ※断線するおそれがあるのでインサートアッセンブリを回転させて締め付けないこと。締め付けのトルク値は下の表を参照。
※パッキン類に汚れが付着すると防水性に影響が出ることがあるので、きれいな状態で作業すること。
※ケーブルパッキンをプラグ本体に押し込む際は、ケーブルに傷を付けない様に慎重に行うこと。

- ① インサートアッセンブリを固定し、エンドベルを締め付ける。
- ② 止めねじ A を締め付ける。
- ③ エンドベル内にケーブルパッキンを押し込み、エンドベルを固定してクランプナットを締め付ける。
(1分間に1回転以下の速度でねじ込むこと)
- ④ ケーブルを前後左右に動かしてなじませ(下図参照)、再度クランプナットを締め付ける。
- ⑤ 止めねじ B を締め付ける。
- ⑥ クランプねじを締め付けてクランプサドルを固定する。



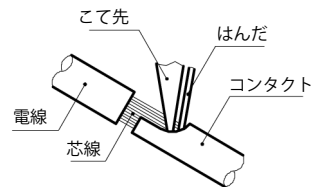
4. 線剥きを施した電線の芯線に予備はんだを施す。

注) ※予備はんだは、電線の被覆部まで行わないこと。
仕上がり状態は、コンタクトの孔径より小さく全体にムラのないこと。
※予備はんだを施したケーブル導体の仕上がり状態がコンタクトの孔径より大きくなる場合は、ケーブル導体がコンタクトに差し込めなくなるので予備はんだは行わないこと。

5. はんだづけを行う。

注) コンタクトへの過度の加熱はしないこと。
使用はんだごては下の表を参照。

- ① コンタクトのソルダーポットに芯線を差し込む。
- ② 図の様にはんだごてで加熱しながらはんだを流し込み、コンタクトと芯線の隙間を埋める。



使用はんだごて	電線導体断面積 (mm ²)	こて先温度 (°C)
30W	1.25, 2	350 ~ 370
60W	5.5, 6	370 ~ 400

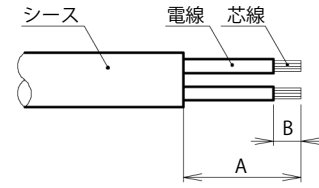
こて先温度は共晶はんだでの参考値

[単位: N・m]

締め付け箇所	シェルサイズ
	32
インサートアッセンブリ-エンドベル	1.5 ~ 2.0
エンドベル-クランプナット	2.5 ~ 3.0
止めねじ A, B	0.3 ~ 0.4
クランプねじ	0.6 ~ 0.8

結線作業方法【はんだ】 NJW・NRW・NEW・BLW 線剥き寸法

該当するサイズ、コンタクト数、形状で照合のこと。



はんだタイプ NJW・NRW・NEW・BLW 線剥き寸法						
サイズ・コンタクト数 ・形状	端子番号	A (mm)	B (mm)	電線導体断面積 (mm ²)		
163	全極	16	5.2	1.25		
165			3.2	0.5		
168			0.3			
202		18	7	2		
203						
204						
205			-PF	5.2	1.25	
207			-PM			
2010						
2012		-PFK	3.2	0.5		
2014				0.3		
242		-PMK	20	8	3.5	
243						
244		-AdM	21	7	2	
245						
2410	-AdF	5.2		1.25		
2414						
2416	-Ad(F)M	3.2		0.5		
2421	-Ad(F)F	1 ~ 18		0.3		
		19, 20, 21	5.2	0.75		
2424			3.2	0.3		
※ 284	-AdMK	22	8	3.5		
※ 288	-AdFK		7	2		
2816			5.2	1.25		
2824	-Ad(F)MK		3.2	0.5		
			1 ~ 28	0.3		
2831	-Ad(F)FK		29, 30, 31	5.2	0.75	
2837			3.2	0.3		
323	全極	35	7	5.5, 6		
324						
328						
3210				2		
3212						

※は、NEWのみ

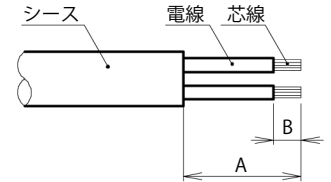
※結線部に強い力が加わるような使い方は避けて下さい。

コネクタの分解からシース剥きの前段階までは、同シリーズのはんだ仕様の結線作業方法を参照。

1. 使用ケーブルのシース及び電線を下の表の寸法で剥く。

該当するシリーズ、サイズ、コンタクト数、形状で照合のこと。

圧着（C）タイプ《JIS規格工具 使用品》 NJC・NR・NJW・NAW・NRW・BLW 線剥き寸法					
シリーズ	サイズ・コンタクト数・形状	端子番号	A (mm)	B (mm)	電線導体断面積 (mm ²)
NJC,NR,NJW,NAW,NRW	244C -PF, -PM, -PFK, -PMK	全極	27	7	1.25, 2
NJC,NJW,BLW	322C -AdM, -AdF, -AdMK, -AdFK		35	11	3.5, 5.5, 6
	323C -Ad(F)M, -Ad(F)F				
	324C -Ad(F)MK, -Ad(F)FK				

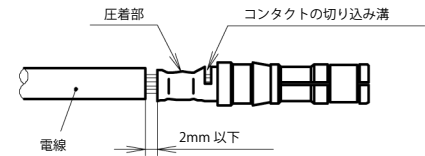


上記以外の形状はB寸法を適用。

2. コンタクトを圧着する。

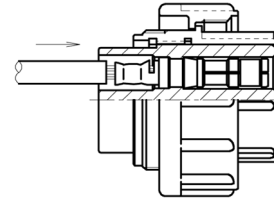
芯線をコンタクトの圧着部の穴の奥まで押し込みながら圧着工具で圧着する。

- 注) ※ 圧着工具のダイスの位置は、導体断面積 1.25mm², 2.0mm² の電線はともに 2.0mm² の位置、3.5mm², 5.5mm², 6mm² の電線はともに 5.5mm² の位置を使用すること。
- ※ 芯線の先端がコンタクトの切り込みを超えていて、芯線が穴から一本も出ていないこと。
- ※ JISC 9711 に規定されている工具を使用し、確実に圧着すること。
- ※ 圧着後、コンタクトと電線の隙間が 2 mm 以下であること。



3. 圧着したコンタクトを配線図に指定の端子番号に組み込む。

- 注) ※ コンタクトが確実に挿入されると“パチッ”と音がする。
- ※ 組み込み後、電線を軽く引っ張り、抜けないか確認すること。

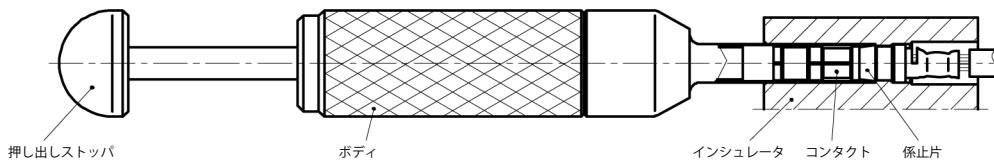


コネクタの組み立てについては、同シリーズのはんだ仕様の結線作業方法を参照。

コンタクトの引き抜き及び差し替え

コンタクトをインシュレータに装着後に取り外す必要が生じた場合（誤配線等）、引き抜き工具（下図参照）で取り外すことができる。

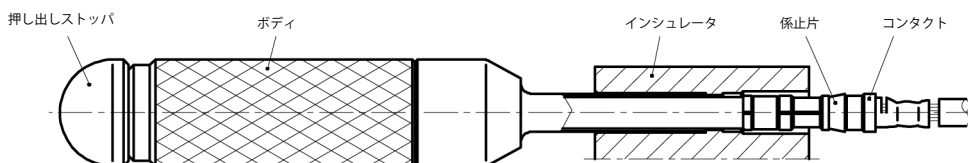
1. 引き抜き工具の先端をインシュレータの結合面側に入れ、結合面に対して垂直方向にボディを強く押し付けて工具により係止片が閉じた状態にする。



2. 結合面に対して垂直方向にボディを強く押し付けたまま押し出しストッパを押す。

- 注) ※ 係止片が完全に閉じていない状態で押し出しストッパを押すと係止片が破損するおそれがある。
- ※ 押し出しストッパを押す時は、手や指を挟まない様に注意すること。

3. 結線側に押し出されたコンタクトをインシュレータから引き抜く。



4. 引き抜いたコンタクトを正しい端子番号の穴に挿入する。

- 注) コンタクトの挿入前に、係止片に傷等の損傷がないか確認し、損傷がある場合は必ず新品部品へ交換する。

圧着タイプ 工具一覧

専用工具、別売用コンタクト

◆圧着 (C) タイプ 《JIS 規格工具 使用品》

コンタクト数	シェルサイズ	該当シリーズ	電線導体断面積	圧着工具	引き抜き工具	コンタクトのみ			
						(銀めっき)		(金めっき)	
						ソケット (メス)	ピン (オス)	ソケット (メス)	ピン (オス)
2	32	NJC NJW, BLW	3.5mm ² , 5.5mm ² , 6mm ²	JIS C 9711 規格工具 *	JET-GTC-8	CC4-J01F ※	CC4-J01M ※	—	—
3									
4	24	NJC, NR NJW, NRW NAW	1.25mm ² , 2mm ²		JET-GTC-K15	CC02501-F ※	CC02501-M ※	—	—
	32	NJC NJW, BLW	3.5mm ² , 5.5mm ² , 6mm ²	JET-GTC-8	CC4-J01F ※	CC4-J01M ※	—	—	

コンタクトのみの場合は上記品名となり、ご購入ロットは 10 本 1 ロット、100 本 1 ロットの 2 種類となります。

品名構成として、※部分が 10 本入りの場合は 10、100 本入りの場合は 100 となります。

例) 10 本入り CC02501-F-10

100 本入り CC02501-F-100

* JIS 規格工具は販売しておりません。市販の JIS C 9711 に規定される工具をご利用下さい。

【C タイプ JIS 規格工具 使用品】

《ソケット (メス) コンタクト》



CC4-J01-F ※

《ピン (オス) コンタクト》



CC02501-F ※



CC4-J01-M ※



CC02501-M ※

《引き抜き工具》



例 JET-GTC-K15